

ICCM会議：世界行動計画

B表の例

表 B. 可能な作業領域とその関連活動、行動主体、目標/時間枠、進捗の指標及び実施の側面⁴

リスク削減に対処する作業領域（目的1）

No.	作業領域	活動	行動主体 ³	目標/時間枠	進捗の指標	実施の側面
1	格差を特定し、行動に優先順位付けをするための、国家の化学物質管理の評価	ナショナルプロフィールを策定し、化学物質の適正管理のための行動計画を実施すべき	国家政府 研究センター IOMC (UNEP, FAO, WHO, UNITAR, UNDP) 非政府組織	2006-2010	行動計画を含むナショナルプロフィールが策定されている。	ナショナルプロフィールの策定を支援するために創設された関係省庁間と多様な関係者からなる委員会
2	人の健康保護	知識を入手し、解釈し、適用する能力の格差を埋めるべき	産業界 国家政府 研究センター IOMC (WHO, OECD) 労働組合	2006-2020 (SAICMの検討期間ごとに成果を出すこと)	能力の格差が縮小する。	エンドユーザーに適切な形で化学物質の有害性、リスク、安全な使用についての情報の入手可能性の改善（工業製品中の化学物質を含む）及び既存のリスク評価の使用の改善